

# 繰延資産

くりのべ  
しさん

「繰延資産」とは、支出した金額をいったん「資産」として計上し、償却期間に応じて「費用」として計上するものです。固定資産のように形のあ

る資産ではないものの、費用対効果が長期にわたって期待できる費用が対象です。

## 会社法上の繰延資産

会社法上の繰延資産は、会社設立時の定款作成や登記などの費用である「創立費」、会社設立後、事業開始までの間の諸費用の「開業費」「株式交付費」「社債発行費」「開発費」の5種類です。

会社法上の繰延資産は任意償却となります。

## 税法上の繰延資産

税法固有の繰延資産には、①自己が便益を受ける公共的施設、共同的施設の設置また

は改良のために支出する費用、②礼金や権利金など、建物等を賃借したり使用したりするために支出する費用、③役務の提供を受けるために支出する権利金その他の費用、④製品等の広告宣伝の用に供する資産を贈与したことにより生ずる費用、⑤上記以外で自己が便益を受けるために支出する費用があります。

## 償却期間

税法固有の繰延資産は、決められた償却期間で均等償却する必要があります。

たとえば、商店街のアーケード設置費用など、自社が直接的あるいは間接的に便益を受ける公共施設の設置のために費用を支出した場合、償却期間は、建物の耐用年数の10分の7に相当する年数になります。建物を賃借するための権利金の償却期間は5年、フランチやイズの加盟料やノウハウの使用料等の償却期間は5年です。

担当者なら知っておきたい

第4回

# 経理用語

(株)CFO代表  
税理士・  
米国公認会計士  
高橋 和徳



# のれん

近年、M&Aによる会社の売買や事業譲渡が増えていきます。「のれん」とは、この会社

のれんは、買収された会社のブランド力・企業価値を資産価値として計上するもので、会計上は「無形固定資産」(特許権や商標権のように具体的な形を持たない固定資産)に分類されます。

時価純資産よりも買収価格のほうが高い場合は資産になります。何かしらのマイナ

のれんは、買収された会社のブランド力・企業価値を資産価値として計上するもので、会計上は「無形固定資産」(特許権や商標権のように具体的な形を持たない固定資産)に分類されます。

## のれんの償却

この場合は時価価値よりも安く買収できたことになり、会計上は負債ではなく収益として計上します。

日本は会計基準では、のれんは資産計上してから20年以内に、各企業が決める一定の償却期間で、定額法(毎年同じ金額を償却する方法)を使って減価償却するように定められています。

## 事業譲渡時の仕訳

事業譲渡の場合、基本的に、買収した側の企業は時価純資

実際に、会計上も税務上の処理にあわせて、5年で償却することが多いようです。●